



NEWS

Fukuoka Foreign Trade Association

福岡貿易会 会員広報誌

発行・編集／社団法人 福岡貿易会
〒812-8505福岡市博多区博多駅前2-9-28
福岡商工会議所ビル7階
TEL.092-452-0707 FAX.092-452-0700
E-mail: info@fukuoka-fta.or.jp

vol.17



フェニックス APS 太陽光発電パネルの前で



メキシコシティ在大使館・日本人商工会との交流会



北米・メキシコに経済視察団派遣

～米国・アリゾナ州・フェニックス、メキシコ・メキシコシティ・カンクン～

CONTENTS

北米・メキシコ経済視察団派遣報告	1～2P
寄稿 「経済視察団に参加して」九州大学名誉教授・福岡市顧問 牛島和夫 氏	3P
セミナー報告と今後の予定	4～5P
報告 ・会員交流会(第57回ゴルフコンペ)	5P
・福貿倶楽部	5P
上海事務所だより「上海万博後の中国、上海」	6～裏表紙
会員企業紹介	裏表紙

北米・メキシコ経済団派遣報告

今回、福岡貿易会では、毎年実施されている経済視察団の訪問先として、アメリカとメキシコの交易・物流拠点で、かつIT関連産業の集積する米国のアリゾナ州・フェニックス、さらに、日本との交流400年を迎えた、メキシコ・メキシコシティ、世界のクルーズの拠点でもあるカンクンを訪問した。特にメキシコはBRICsに続くNEXT11の中でもその発展が注目されており、2050年にはGDPで日本を抜き世界第5位に躍り出るとの予測もだされている。

1. 日程：10月31日（日）～11月7日（日）
2. 訪問先：米国・フェニックス、墨国・メキシコシティ、カンクン
3. 訪問団：安倍団長（当会副会長＝三菱商事九州支社長）、清水副団長（三井物産九州業務部長）他（総勢17名）
4. 主な活動

1)11月1日 米・アリゾナ州・フェニックス

- ①アリゾナ州公益事業局(APS)での太陽光発電施設見学
施設詳細は後述3頁「北米・メキシコ経済視察団に参加して」 2. 太陽光発電実験場を参照されたい。
- ②アリゾナ日本企業懇話会(JBAA)による現地概況説明と交流会(要約後述)
 - ・JBAAは1991年3月に発足（現在約80名の会員）。日系進出企業と在住者として構成されており、会員相互の情報交換・交流を図る事に加え、在日本人の子へへの日本語教育等の活動も行っている。
 - ・日系企業はブリヂストン、イビデン、日鉱メタル、サムコ、西鉄等13社が進出しており、半導体関連6社、物流4社、自動車関連3社となっている。当日は九州とも馴染みの深いSUMUCO Phoenix社とNikko Metals社から出席を頂いた。



APS 施設の説明を受ける



JBAA 福世会長による現地概況説明

2)11月2～3日 墨・メキシコシティ

- ①11月2日、ジェトロ・メキシコセンター中畑氏による現地経済概況説明会(要約後述)
- ②11月3日、現地日系企業との交流会
 - ・メキシコシティにて在メキシコ日本国大使館 鈴木参事官、メキシコ日本商工会議所 広瀬会頭(パナソニック)をはじめとした在メキシコ日系企業等のお客様(10名)をお招きし、団員との意見交換会を実施、交流会は安倍団長の挨拶から始まり、途中現地の苦勞話や今後の取り組みはもちろんのこと、九州の話題など多くの話題が話され、最後は、清水副団長の「博多手一本」で閉会した。



JETRO 中畑氏(写真左)による概況説明



現地日系企業の方を交えての交流会



博多手一本で閉会

5. 米国・アリゾナ州、墨国メキシコの経済概要(要約)

1) アリゾナ州

- ①アリゾナ州はカリフォルニア、ネバダ、ユタ、ニューメキシコ各州と接し、メキシコとは国境を接し、年間を通じてほとんど雨が降らない(年間降雨日30日強)
- ②アリゾナ州の産業は、通信、半導体、機械、航空宇宙、ソフトウェア、医療、バイオ、太陽光等の産業が集積。近年はボーイング、インテル、AT&T等企业が進出。
- ③アリゾナ州は世界で太陽光発電に最も適した場所の一つで、太陽光発電の研究は25年以上にわたり、世界最大規模の太陽光発電所が数ヶ所ある。
- ④リーマンショックの影響を強く受け、住宅価格変化率も全国平均を上回る下落率。

2) 墨国(メキシコ)

- ①'09年のGDP成長率は-6.5% (戦後最悪)。特にメキシコにおいては、リーマンショックというより、GM、クライスラーショックにより自動車産業が打撃を受けた。金融部門は比較的健全。為替レートはドルにリンクしており、メキシコ経済の低迷要因の一つは過度の米国依存にある。'00年代平均は3%台、80年代にある程度成長土台が確立されており、潜在的には4%台の成長の可能性がある。
- ②'10年の経済は、GDP成長率は前年同期比5.9%、自動車産業も前年同期比11.6%と好調(但し、'08年同期比ではマイナス)。'10年は輸出が好調で、外需が経済を牽引、国内消費の伸びは緩やかに国内消費活性化が課題。一方財政プライマリー収支は黒字。メキシコ国債は信頼も高く、100年ものの国債が発行された。
- ③メキシコ市場で日本企業は、自動車で躍進(自動車普及率は4割)日産は'60年代('09年は生産が墨国内トップ)、ホンダ'90年代、トヨタ'00年代進出。最近では、日墨EPAのメリットを活用し、マツダやスズキ等も輸出をしている。その他に、トラックやバス分野等で、いすゞや日野もメキシコに工場を設置。
- ④HP、レノボ、ACERがPCを製造、白物家電関係はGE、LG、サムスン等韓国勢が積極投資。日系企業ではシャープ、パナソニック、サンヨー、東芝、三菱等が進出。
- ⑤特に近年航空機産業は会社数・従業員数は2年間('06~'08)で2倍強に、ボーイング、エアバス、ボンバルディア向け工場が北部国境付近に集積。ボンバルディアがケレタロ州に工場を設置。部品の85%をケレタロ州で製造している。
- ⑥農水産業では、メキシコの強みは野菜、果実、水産物等で穀物は輸入超過。
- ⑦メキシコにおけるクルーズ船に関する港は、太平洋側とメキシコ湾・カリブ側とにあるが、大きな船が接岸できる港は、カンクンの東のコスメル島にあり、そこがカリブクルーズのメッカとなっている。又国策としてリゾート開発されたカンクンは世界から旅行者を集めている。

～ 両国の経済概要 ～

	米国の概要(アリゾナ州概要のみ2006)2009年	墨国(メキシコ)の概要2009年
名目GDP	14兆2,563億ドル(2,165億ドル)	11兆8,300億ペソ(8,749億ドル)
一人当たりGDP	46,318ドル	8,135ドル
人口	3億715万人(635万人)	1億687万人
面積	983万平方km(294万平方km)	196万平方km
経常収支(国際収支)	-4,199億ドル	-55億7,980万ドル
輸出額	1兆569億ドル	2,298億ドル
輸入額	1兆5,596億ドル	2,344億ドル
換算	1ドル=約84円	1ペソ=約12ドル
	JETRO HP、アリゾナ州政府HPより	JETRO HP、在メキシコ大使館資料等

寄稿

北米・メキシコ経済視察団に参加して

九州大学名誉教授・福岡市顧問 牛島 和夫



1. 肥満

アメリカに入国すると、現役時代の小錦関のような体格の人をしばしば目にした。フェニックスからメキシコに入ると、アメリカ人とは人種が違うなと感じるとともに肥満の人はアメリカよりは少ないと直感した。帰国して留守中の新聞を広げると毎日新聞11月5日号に「先進国の肥満の状況と予防策の費用対効果について」OECD報告書の記事を見つけた。その中で肥満の割合が多い2大国がアメリカとメキシコとあり、前者は男32%、女36%、後者は男24%、女35%で3位以下の国を大きく引き離している。カンクンの空港でも肥満の人をたくさん見かけたが、彼らがどのようにして飛行機の座席に着くのか気がかりであった。ちなみに記事によれば日本人と韓国人が肥満の割合は3%強で調査対象の先進国中では一番少ないという。

2. 太陽光発電実験場

当地は年間の晴天日が320日もあり、20年前から太陽光発電の様々な方式や素材の実験を行ってきている。気温と発電の関係をリアルタイムで計算し公称発電効率をチェックできるシステム。太陽の位置を計測してパネルの角度を追尾するシステム。太陽光をレンズで集光して発電するシステム。縦12枚×横21枚のパネルを継ぎ合わせた巨大な平板の横に風速計をつけて風速が時速25マイルを超えたらこの平板を自動的に水平にするシステム等々広大な敷地にこれらが並んでいる。これだけの多様なシステムとそれらの比較研究は他の追従を許さないであろう。研究にはアリゾナ州立大学や州の研究機関の研究者も参加しているという。なお、アリゾナ州では営業運転の太陽光発電所がすでに州内に複数箇所稼働している。

3. メキシコあれこれ

メキシコ滞在第1日はJETROメキシコセンター中畑貴雄氏のレクチャーに始まった。膨大なデータと分析に基づく同氏のレクチャーと質疑応答は2時間に及ぶ充実したものであった。印象に残った話を2つ書き留める。

- (1) 経済社会階層 メキシコは所得格差が大きい国とのことである。メキシコ市場・世論調査機関協会がメキシコの経済社会階層を世帯の特性に応じて6階層に分類している。10の質問項目に対する回答に基づきポイントを積算して合計点

で分類する。質問項目は次の通り。

①住居の部屋数、②浴室・トイレの数、③浴室・トイレにシャワーが付いているかどうか、④照明の数、⑤住居の床の材質、⑥自家用車の数、⑦テレビの数、⑧パソコンの数、⑨台所にガス・電気コンロがあるかどうか、⑩最大の所得源である家族構成員の最終学歴。注目点が興味深い。すなわち、メキシコでは世帯当たりの車の保有率44%、パソコンの保有率23%なのである。結果は富裕層から順に第1階層7%、第2階層14%、第3階層18%、第4階層36%、第5～6階層25%となっている。メキシコでは所得階層別の購買力や消費性向に応じて階層別マーケティングが行われており販売チャネルや売り方も階層ごとに異なっているという。

- (2) 産油国 1970年代に油田の発見が相次ぎ、現在世界第7位の産油国である。重質油が中心なので日本には輸入されていない。メキシコでは憲法によって炭化水素資源の国家独占が定められているので、石油等の開発・採掘から製油まで国営石油公社が行っている。国営のために非効率性が表に出ており、産油国でありながら製油能力が不足しているためにガソリンを輸入するという不都合まである。政府資金の不足から石油資源探査活動が十分行えず確認埋蔵量は減少の一途をたどっているとのことである。今年起きたメキシコ湾の石油流出事故の影響を尋ねたところ、直接の影響はないが、事故を起こしたBPは、技術的に明らかにメキシコ石油公社より優れているので、メキシコが深海油田の開発に及び腰になるのは明らかだろうとのことであった。

4. おわりに

メキシコ滞在第2日の夜は、在メキシコ大使館の鈴木参事官やメキシコ在住日系企業のトップの方との交流会が行われた。筆者はメキシコ日本商工会議所会頭の広瀬氏と隣り合わせの席に座った。広瀬氏によれば中畑氏の著書「メキシコ経済の基礎知識」はメキシコで事業をするものにとって必読の書であるとのこと。帰国して早速同書を購入した。中畑氏の講演には同書の出版後のデータもかなり盛り込まれていることを知った。中畑氏に改めて敬意を表したい。

セミナー報告と今後の予定

報告

●「貿易英文契約書講座 入門基礎編」

※日本貿易振興機構（ジェトロ）福岡貿易情報センターと共催

＜日 時＞ 平成22年10月5日（火）10:00～16:00

＜と ころ＞ 福岡商工会議所 2F 第2研修室

＜講 師＞ 国際経営法務コンサルタント中矢事務所 代表 中矢 一虎 氏

＜内 容＞ 契約交渉の流れと基本七条件

英文契約書を読み解くコツ・国際交渉のコツ 等

参加者のことばより

- * 貿易英文契約書のポイントを押さえた箇切りの良い講師の説明に引き込まれました。中国との契約ポイント等も機会があれば希望します。
- * 商社での実務経験をふまえた講座で、口調もはっきりしていて大変分かりやすかった。今後は国による法律の違い等の講義も聞きたいです。



※休憩時間にも、受講者の質問に丁寧に応対される中矢氏

●「輸出入金融セミナー」

＜日 時＞ 平成22年10月19日（火）・26日（火）14:00～17:00

＜と ころ＞ 福岡商工会議所 6F 604会議室

＜講 師＞ (社)福岡貿易会 貿易アドバイザー 木村 寧海 氏

＜内 容＞ 輸出入代金の決済方法・輸入信用状・為替リスクの回避 等

参加者のことばより

- * 貿易の流れから信用状取引など基本を確認することができた。特に送金メカニズムの国内と海外別に詳細を知ることが出来、大変勉強になった。
- * 輸入代金決済処理を始めたばかりで、勉強になりました。今までは前任者指示だけで処理していましたが、今後はよく理解して処理していきたいです。



※板書で一杯の黒板を指しながら

●「食品輸入セミナー基礎編」

＜日 時＞ 平成22年10月27日（水）14:00～17:00

＜と ころ＞ 福岡商工会議所6F 604会議室

＜講 師＞ 福岡検疫所食品監視課 輸入食品相談指導室長 平井 秀和 氏

＜内 容＞ 食品輸入の諸手続と注意事項・食品添加物の審査のポイント 等

参加者のことばより

- * とても分かりやすく、資料も今後の社内教育や引き継ぎに使えるもので永久保存版にしたいと思います。スライドを使っの事例も面白かったです。
- * 私々は通関業務者ですが意外と知っている様で食品衛生法の基本を知りません。最近はこの様なセミナーが実施されており、非常に仕事に役立ちます。



※食品輸入ではお馴染みの平井室長の講義に会場は超満員に。

●「食品輸入セミナー実務編」

＜日 時＞ 平成22年11月12日（金）14:00～16:45

＜と ころ＞ 福岡商工会議所6F 605会議室

＜講 師＞ 福岡検疫所食品衛生専門官 谷 拓 氏
福岡検疫所食品監視課 課長 森 和広 氏

＜内 容＞ 第1部「残留農薬基準の調べ方」
第2部「器具の規格基準について」

参加者のことばより

- * 食品などに関わる業務に携わってまだ半年位ですが、大変役に立つ講義を今回受講することが出来ました。有難うございました。
- * 荷主の参加が多く見受けられ、日頃から荷主の説明等に苦勞している通関業者としては、このようなセミナーを開いて頂いて助かります。資料等活用させていただきます。



第1部：谷食品衛生専門官



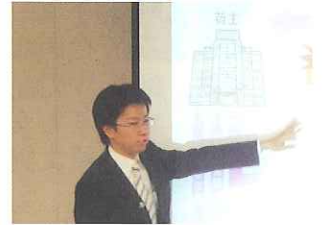
第2部：食品監視課 森課長

セミナー報告と今後の予定

報告

●「外航貨物海上保険セミナー」

- <日 時> 平成22年11月17日(水)14:00~16:30
- <ところ> 福岡商工会議所地下1F BI-b会議室
- <講 師> 三井住友海上火災保険株式会社 九州本部九州企業営業部
第三課 主任 井上 仁 氏
- <内 容> 貿易取引と外航貨物海上保険・保険申込の実務と注意点
最近の事故の例から



※パワーポイントを駆使した視覚に訴える解りやすい講義でした

参加者のことばより

- * インコタームズ2010については解りやすく解説されていて良かったと思う。内容も基礎面からのものであり、研修の一環としての受講と言う観点からも価値のあるものであった。
- * 貨物の運送には様々なリスクを伴うが、保険に入ることにより複雑な処理も代行してくれることを知り、保険に入ることの重要性を以前より、より感じた。

今後開催予定のセミナー (予定につき変更の可能性あります)

☆貿易実務新任者フォローアップセミナー

- <日 時> 平成22年12月15日(水)
14:00 ~ 16:30
- <ところ> 福岡商工会議所6F 605会議室
- <講 師> 山九(株)九州エリア開発営業部部長代理
松浦 遼 氏
- <内 容> 輸入手続きの迅速化について

☆中国実務セミナー

- <日 時> 平成23年2月22日(火)・23日(水)
9:30 ~ 16:30
- <ところ> 福岡商工会議所6F 605会議室
- <講 師> グローバル人材育成センター
仙波 慶子 氏
- <内 容> 中国任国事情、法務税務

☆貿易実務講座(実務編) ※ジェットロ福岡と共催

- <日 時> 平成23年1月27日(木)・28日(金)
10:00 ~ 16:30
- <ところ> 福岡ビル9F 第5ホール
- <講 師> (株)アースリンク代表取締役 曾我しのぶ 氏
- <内 容> 実務経験内容のステップアップに

報告

☆会員交流会(第57回福貿会ゴルフコンペ)

恒例のゴルフ交流会は、10月27日に、古賀ゴルフクラブで、51名の会員の皆様にご参加をいただき、楽しいひとときを過ごしていただきました。今回は、博多港開発(株)社長中島紹男氏が見事優勝されました。当会のゴルフコンペは、年2回(春・秋)開催していますので、皆様のご参加をお待ちしております。



☆第10回福貿倶楽部(小規模交流会)

情報交換や異業種交流の場である福貿倶楽部も、今回で10回目を迎えました。10月12日にIPホテルで、在福岡米国領事館のマーク・S・ディーカー政治・経済担当領事をゲストにお迎えし、「九州・山口地域における貿易促進とアントレプレナーシップ推進」と題して講話をいただき、その後会員相互の懇談を行い、交流を深めました。皆様も是非一度参加してみませんか。



上海事務所だより

上海万博後の中国、上海



社団法人福岡貿易会上海代表処
首席代表 小柳芳隆

1、はじめに

半年間にわたり数々の話題を提供した上海万博が10月31日終了しました。私は会期前から、会期中を含め15回ほど会場に足を運びました。空港の拡張、地下鉄の延伸、高速道路・バイパス道路の整備等により、上海市の交通インフラは世界の主要都市並みに整いました。上海万博の効果はハードの整備・経済効果というより、多くの中国人が世界のファッション、技術、環境、丁寧なおもてなし等に直接触れ、感動したソフト面でのこれからの変化であると思っています。あの鄧小平氏の「富める者から富め」所謂・先富論から、成長一辺倒であった国策、その結果としての人を押しつけてでも儲けることだけに邁進してきたように見受けられる中国人の行動が、調和のとれた、人に優しい、社会への転換のきっかけになることだと思っています。私にとっては未体験の大阪万博が戦後日本の大きな転換期となったと聞いています。また福岡市政で最も大きなイベントであった「アジア太平洋博覧会=よかとびあ」が福岡市の立つ位置、プレゼンスを飛躍的に高めた事は皆さん衆目の一致するところですが、上海万博後の中国・上海に大いに期待するところでもあります。

2、これからの中国・内需主導の強まり

先日、中国共産党中央委員会総会が開かれ、「第12次五カ年計画（2011～15年）に関する意見」が可決されました。

主な内容としては、経済発展パターンの転換を中心に、「内需拡大」、「地域間の調和のとれた発展、都市化」などを推し進めることが強調されています。経済発展パターンの転換とは、主に三つの転換を指します。

- ① 「投資、輸出に依存してきた成長パターン」を「消費主導」に転換、
- ② 「工業中心だった産業構造」を「サービス業など」バランスのとれた構造に転換、
- ③ 生産要素（労働、資本、資源）の「量的投入」から生産性を高めた「質的投入」に転換。

こうした発展パターンの転換により、「和諧社会（調和のとれた社会）」、「科学発展（バランスのとれた発展）」を実現することが発表されました。

内需拡大の最も大きな課題は「都市と農村の格差」です。格差が広がると、社会が不安定となるだけでなく、富が一部の人に集中して国全体の消費が伸びないからです。

また生産面においては、資源の大量消費や環境悪化など問題が山積しています。雇用吸収力が高いサービス産業を進展させ、新エネや環境など新興産業を育成することが急務となっています。

長期的に見れば、中国社会もより安定した豊かな社会に移行することは間違いないと思います。

ただ、この先5年くらいを見通した時に、いろいろと問題が起こることも想像に難くありません。

まず政治体制が難しいです。2012年には共産党指導部が交替しますが、党内でも経済成長重視派や構造改革重視派など複数のグループが存在します。また軍や地方政府、既得権益保持者など必ずしも政府の方針に賛成でない人も多いです。そもそも国民も以前のように中央政府の指導に無条件に従うという社会ではなくなってきている気がします。「社会主義市場経済」の下では、政策の意思決定がスムーズになされないと経済にも悪い影響を与えかねません。

また、国有企業が多いことも今後の成長の足かせになります。生産性の向上が期待できないからです。工業生産に占める国有企業の割合は徐々に減ってはいるものの、約3割はあると言われています。特に資源、インフラなどの基幹産業はほぼ国有企業が独占しています。2008年後半からの景気対策は主にインフラ整備に費やされました。銀行融資も多くは国有商業銀行を通じて国有企業に貸し付けられました。結果、国有企業が肥大化するだけでなく、国有企業による開発や不動産投資が各地で進み、銀行の不良債権リスクが高まっています。

3、上海経済の今後

二桁の伸びを示していました上海経済もリーマンショックによる世界経済不況で、経済発展にブレーキがかかりました。09年第1四半期の成長率は輸出の急減、投資の低迷によりなんと3.1%まで落ち込みました。しかし政府の景気浮揚策、万博関連固定資産投資により、第1四半期を底に再び上向きになってきています。しかし上海の回復の大きな特徴は輸出の戻りとサービス産業の増大、消費の堅調さにあると言えると思います。つまり上海経済を牽引してきた製造業と輸出に加え消費を中心とした内需型に移ろうとしています。

又上海では投機目的の不動産購入により、高級住宅の価格が高止まりするという問題が発生しています。こうした不動産市況の過熱を抑えるため上海市政府は、今年に入って抑制政策を次々と打ち出し、10月には、「1世帯が新たに購入できる上海市の住宅は1軒のみとする措置」を講じました。しかし、行き過ぎた抑制は不動産価格の暴落を招きかねず、政府としても市況を見ながら調整することが予想されます。政府の調整が機能する限り、価格は今のまま推移し、不動産バブルの崩壊という状況にはならない気がしています。

今後、万博開催の反動による投資、消費の減少は予想されるものの、逆に万博により押さえられていた開発案件が進むことも期待されます。「虹橋商务区」、「新外滩金融センター」、「浦江沿岸開発」、「ディズニーランド」など数十の開発案件が万博終了を待って進められることになっています。

4、おわりに

2009年(社)福岡貿易会上海事務所としての事務所移転開設を皮切りに、広州、上海、青島他各都市で行われた食品、機械、九州産品等の展示商談会への対応、2010年6月の福岡市長出席による上海港セミナー・万博視察対応、クルーズの福岡誘致、釜山と一緒に観光キャンペーン等々、その間ほとんど事務所の席を温めることのないあっという間の2年半でした。上海へお越しの節は是非当事務所にもお寄りください、お待ちしております。

会員企業紹介

◆会員名	アリババマーケティング株式会社			Alibaba JAPAN Authorized distributor Alibaba Marketing
◆代表者役職氏名	代表取締役社長 山本 康二			
◆所在地	福岡県福岡市中央区舞鶴 1-1-11 天神ガラスビルディング 3F			
◆TEL	092-718-3671	◆FAX	092-718-3672	
◆URL	http://www.alibaba.com	◆MAIL	alibaba-seminar@alibaba-m.jp	
◆主要業務	アリババドットコム ワールドパスポート販売 インターネットを使った海外販路開拓についてのセミナー開催、コンサル			
◆当社の特色と会又は会員企業への希望について	中国に本社がある「Alibaba.com (アリババドットコム)」の日本代理店として2009年4月に創業致しました。アリババドットコムは「インターネット上の世界最大級の展示会」です。世界240国に、1490万の会員を有しています。アリババをご利用いただき、日本経済の活性化や新興国へ日本の高度な技術や製品の提供を通して、環境、食料、エネルギーの問題解決に貢献することが私共のミッションです。是非、世界最大級のインターネット上の展示会にアクセスしてみてください。http://www.alibaba.com			

◆会員名	岡部機械工業株式会社			
◆代表者役職氏名	代表取締役社長 岡部 繁康			
◆所在地	福岡県古賀市天神2-6-1			
◆TEL	092-943-4423	◆FAX	092-943-2535	
		◆MAIL	Okabe092@coral.ocn.ne.jp	
◆主要業務	ベルトコンベヤ用ローラ及び関連機器の製造販売 			
◆当社の特色と会又は会員企業への希望について	石炭、鉄鉱石、空港の手荷物、貨物搬送用ベルトコンベヤ用ローラで防塵、防爆、防火に優れ、長寿命の岡部ローラとして創業96年を経過しております。			

福岡貿易会事務所

〒812-8505 福岡市博多区博多駅前2丁目9番28号
福岡商工会議所ビル7F
TEL:(092)452-0707 FAX:(092)452-0700
E-MAIL:info@fukuoka-fta.or.jp
ホームページ http://www.fukuoka-fta.or.jp/

上海事務所

中華人民共和国上海市盧湾区淮海中路398号 世紀巴士大廈9階
TEL:+86-21-6385-8815 FAX:+86-21-6385-8806
E-MAIL:fukuoka-city@fukuokash.com.cn

発行・編集/ 社団法人 福岡貿易会
デザイン・印刷/ (株)西日本高速印刷



この印刷物は自然環境保護のために再生紙を使用しています。また、大豆油インキを使用しております。